

第 5 章

計画の目標

第5章 計画の目標

本市における地域公共交通の問題点・課題を踏まえ、本計画の目標と、目標の達成状況を確認するための指標を設定します。

【宜野湾市の地域公共交通の課題】

- 路線バス、タクシー、コミュニティ交通等の機能整理とネットワークの構築
- 地域内の移動を支える交通サービスの検討
- 高校生の送迎交通からの交通手段の転換促進
- 公共交通の利用環境の改善
- 琉球大学医学部及び大学病院移設後の西普天間住宅地区周辺の円滑な交通の確保
- 車を利用しない観光客向けの公共交通利用環境の改善
- 周辺市町村と連携した公共交通の確保維持活性化

目標 1

公共交通サービスの充実を図る

- 指標 1：路線バス年間利用者数
- 指標 2：コミュニティ交通年間利用者数
- 指標 3：サイクルステーションの設置箇所数

目標 2

公共交通で移動できる環境を整える

- 指標 4：交通結節点の整備箇所数

目標 3

公共交通の利用を促進する

- 指標 5：高校通学時の公共交通利用率
- 指標 6：モビリティ・マネジメント[※]の実施学校数

目標 4

人と地球にやさしい交通体系を構築する

- 指標 7：日常生活における歩行等の運動者の割合

※モビリティ・マネジメント：多様な交通施策を活用し、個人や組織・地域のモビリティ（移動状況）が社会にも個人にも望ましい方向へ自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした取り組み。

■ 指標と目標値

目標	指標	現状値	目標値	備考
		2022年 (R4年)	2028年 (R10年)	
目標1 公共交通サービスの 充実を図る	【指標1】 路線バス年間利用者数	8.2百万人/年 (R3年)	12.0百万人/年	コロナ禍前の水準を目標に設定
	【指標2】 コミュニティ交通年間利用者数	0人	増加	導入を目指す
	【指標3】 サイクルステーションの設置箇所数	18箇所 (R5年)	25箇所	他都市における人口当たりの設置箇所数を目安に設定
目標2 公共交通で移動できる環境を整える	【指標4】 交通結節点の整備箇所数	0箇所	1箇所	交通結節点のモデルを整備
目標3 公共交通の利用を促進する	【指標5】 高校通学時の公共交通利用率	32.5%	40.0%	最も送迎が多い高校の送迎割合40%まで公共交通利用率を引き上げる。
	【指標6】 モビリティ・マネジメントの実施学校数	0校	6校	小中高で各2校実施
目標4 人と地球にやさしい交通体系を構築する	【指標7】 日常生活における歩行等の運動者の割合	男性：33.9% 女性：33.2%	増加	健康ぎのわん21に準拠

■ 指標に関する参考データ

指標	H30	R1	R2	R3	R4	出典等
指標1： 路線バス年間利用者数	12.6 百万人/年	12.6 百万人/年	7.9 百万人/年	8.2 百万人/年	公表前	沖縄総合事務局の運輸要覧。 市内を通行する路線が対象

指標	宜野湾	中部商業	普天間	沖縄 かりゆき	平均	出典等
指標5： 高校通学時の公共交通利用率	現状 20.8%	32.7%	46.2%	30.3%	32.5%	アンケートで把握。 4校平均で算出

指標	H22	H23	H24	H29	出典等
指標7： 日常生活における歩行等の運動者の割合	男性 46.1% 女性 46.6%	40.8% 40.3%	40.1% 39.7%	33.9% 33.2%	健康ぎのわん21に準拠 対象は40～74歳。日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している者の割合。

